

素晴らしき日記

笑顔になります。

きてきました。ありが

バコをすっています。」

百二歳で亡くなられ

ご本人の書かれた通

とう。今日も宜しく。」

「家の前をチンチン

た浅野増子さんは、毎

りに書いています。

「人間の世界に80

電車が走っています。

日、隠すようにして。

「お空の父さん、母

年生きてきました。小

天王寺さん、カメの池、

日記を書いて居られま

さん、増子です。宜し

さなケガも病気もなく、

大きなツリガネ、本堂

した。亡くなられた後、

く。」

ありがとうございます。」

へ行く石ダタミの道、

その内の二冊をご家族

「お空の皆さん、あ

「なつかしい家、大

たくさんのカメ、白い

から頂きました。

りがとう。あかつきの

阪の家。父さん母さん、

ハト、お寺さんお元気

同じような内容を繰

会社の皆さま、ありが

奥の間で父さんが謡を

で」

り返し書いて居られ、

とう。浅野増子です。」

言ってます。母さんは、

「エンアツテ浅野家

読んだ職員は、愉しく

「今日まで無事に生

長火鉢の前に座って夕

の一人になりました。」

「お空の皆さま、も

た。」
べて元気におくらし下
すか。」

うしばらく歩けますよ

「すなおに生きてゆ
さい。いつか会える日
「おはようと言いた

うに、お願い申し上げま

きますようにお願い申
をたのしみに。」
いが、今日も半日すぎ

す。くわばら々々。」

上げます。増子です、
「いつか**ブジ**にお
ました。目が**カスン**で

「**オバア**さんにな

お父さんお母さんよろ
空に行けますように、
きました。生きてる間、

りました。歩くのが**た**

しく。」
おねがい申し上げます。」
見えますように々々。」

いへんになりました。

「五時になりました、
「天国地獄、私はど
「本が読めなくなっ

足が**サツサ**歩けなく

晩ごはんはんに食堂に行き
ちらでしようか。天国
てきました。なみあみ

なりました。トシヨリ

ます。何が出ますか、
地獄行ってみないと分
だぶつ々々」

のオバアサンです。い

おたのしみ。」
かりませんね。父さん、
「人間も老人になる

つかくる日が来まし

「よくねて、よく食
母さん、どちらにいま
と**ジブン**のことも**シ**

「マツ」出きなくなりま

取れました。有難う。」

す。」
けのオマルがあります。

した。なむあみだぶ

「今日はウンコは出

「ウンコは、トイレ」
会社の皆さまありがと

つ々々。」

ません。でるときは、

にでました。ありがと

う。」

「おなか」が張って

かならず、オマルにで

う々々。」

「トイレの用紙、会

います。ウンコちや

ますように。」

「晩」です、小ベンが

社の方にももらいました。

「ん」ができません。どうし

「オナカ」の中の「ハ

出ました。会社の方、

ありがとう々々。」

たら張れが取れますか。

「イヒン物」がオマル

ありがとう々々」

「左の足のくすり

どうか張れが取れます

にでますようにお願い

「オマル」に腰掛け

「ユビ」に出きた「タコ

ように。お願い申上げ

いたします。カッテな

てたら「プーピー」パと

「トレマス」ように、タコ

ます。」

お願いですが、どうぞ

空気が出ました。」

「タコ」とんでゆけ々々。」

「おなか」の張れは

よろしくお願い致しま

「オヘヤ」にわたした

「私のカラダ」に「テ

キシタ会社に入れて

ねてばかりです。お仕

間の世界です。」

もらいまして、ありが

事をさして下さい。年

「今日は、お風呂に

とう々々。おかげで元

よりがウロウロすると

入れていただきました。

気でくらししています。

ジャマですか。」

皆さんありがとう。」

よくねて、よく食べて、

「目がさめたら8ジ

テレビを見てタノシク

30分です。お部屋は、

暮らしています。皆さ

電気で明るいのです。

まありがとう。」

庭はくらい晩です。床

「私のようなバア

は、電気が通っている

さんに出きる仕事は

のか、温かいです。言

ありませんか。食べて

うことなし。晩は、人